

風雅と官能の室町歌謡 五感で読む閑吟集

「著作権保護コンテンツ」

五感で読む閑吟集
風雅と官能の室町歌謡



植木朝子



角川選書の著作権保護コンテンツ

[風雅と官能の室町歌謡 五感で読む閑吟集 下载链接1](#)

著者:植木 朝子

出版者:角川学芸出版

出版时间:2013-1-24

装帧:单行本

isbn:9784047035195

室町の代表的小歌を集めた『閑吟集』には、男女の恋歌を中心に、不安な世への明るい諦念の歌など、当時の人々と人生観を映し出す311首が収められている。戦国動乱の気配が漂う室町後期、人々は無常の世を悟りながら、あえて官能に身を投げ出した。庶民から貴族までを熱狂させた「小歌」に、室町人は何を託したのか。小歌に表れたリアルな感情の動きを「五感」でとらえる斬新な方法で、室町歌謡の豊かな世界を描き出す。

作者介绍:

植木朝子（ウエキトモコ）

1967年生まれ。お茶の水女子大学大学院人間文化研究科単位取得満期退学。博士（人文科学）。同志社大学文学部教授。専攻は中世歌謡。著書に、『梁塵秘抄とその周縁—今様と和歌・説話・物語の交流』（三省堂、日本歌謡学会志田延義賞受賞）などがある（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目録: 味わう（青梅の枝—性愛の讚美）

触れる（寝肌の争い—姉と妹の物語／打つ女・打たれる女—官能の倒錯美）

嗅ぐ（簾からこぼれる香り—王朝の文化と中世の遊び／残り香と面影—東下りの殿をめぐって）

聴く（一節切尺八の音色—王昭君の悲劇・稚児の恋／唐櫓の響き—遊女の恋）

視る（意匠・文様との交響—花筏・花鞠・水車・誰が袖図／動物の小歌と禅の絵画—燕・蛤をめぐって）

・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[風雅と官能の室町歌謡 五感で読む閑吟集 下载链接1](#)

标签

日本文学

日本室町

日本历史

小歌

古典

了了

评论

[風雅と官能の室町歌謡 五感で読む閑吟集_ダウンロード1](#)

书评

[風雅と官能の室町歌謡 五感で読む閑吟集_ダウンロード1](#)